613-001615 Rev.B 120127

ギガビットイーサネット・メディアコンバーター

CentreCOM® MC1008/GB・MC1008/SP ユーザーマニュアル

この度は、CentreCOM MC1008/GB・MC1008/SP（以下 CentreCOM 省略）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品は、1000BASE-T ツイストペアケーブルとギガビット光ファイバーケーブルを変換する、メディアコンバーターです。光ファイバー側インターフェースとして、GBIC スロットまたは SFP スロットを備えており、オプション（別売）の GBIC モジュール、SFP モジュール（以下、GBIC、SFP）を装着して、ネットワークの必要にあわせて接続距離を延長することが可能です。

本書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。

本製品のご使用にあたって

本製品は、医療・原子力・航空・海運・軍事・宇宙産業など人命に関わる場合や高度な安全性・信頼性を必要とするシステムや機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用を意図した設計および製造はされておりません。

したがって、これらのシステムや機器としての使用またはこれらに組み込んで本製品が使用されることによって、お客様もしくは第三者に損害が生じても、かかる損害が直接的または間接的または付随的なものであるかどうかにかかわりなく、弊社は一切の責任を負いません。

お客様の責任において、このようなシステムや機器としての使用またはこれらに組み込んで使用する場合には、使用環境・条件等に充分配慮し、システムの冗長化などによる故障対策や、誤動作防止対策・火災延焼対策などの安全性・信頼性の向上対策を施すなど万全を期されるようご注意願います。

1 特長

○ 用途に応じて選べる光ファイバーインターフェース
- GBIC スロット（MC1008/GB）
- SFP スロット（MC1008/SP）

○ 超小型サイズ、軽量設計

○ 一方のポートにリンク障害が発生し受信信号が消失した場合、反対側のポートのリンクを自動的に切断するミッシングリンク機能

○ 問題のあるポートを自動的に切断し、LED で知らせるスマートミッシングリンク機能

○ 各ポートの接続状況が LED 表示で一目でわかるリンクテスト機能

本製品には、GBIC/SFPの送信側リンクの障害を検出する機能はありません。

オプション（別売）

○ ラックマウントキット MCR12、AT-TRAY1 または AT-TRAY4 により、19 インチラックマウントへの設置が可能

○ 壁設置用ブラケット AT-TRAY1 により、壁面への設置が可能

○ リダンダント電源ユニット PWR4 により、ラックマウントキット MCR12 の電源の冗長化が可能

○ マグネットシート S により、壁面への設置が可能

製品の最新情報について

本製品リリース後の最新情報を弊社のホームページにてお知らせします。

http://www.allied-telesis.co.jp/

2 梱包内容

最初に、梱包箱の中に次のものが入っていることを確認してください。

- □ CentreCOM MC1008/GB・MC1008/SP 本体（いずれか 1 台）
- □ AC アダプター（ケーブル長 1.8m、1 個）
- □ ケーブルクランプ（1 個）
- □ ゴム足（4 個）
- □ 製品保証書（1 枚）
- □ シリアル番号シール（2 枚）
- □ ユーザーマニュアル（本書）
- □ 英文製品情報

また、本製品を移送する場合は、工場出荷時と同じ梱包箱で再梱包することが望まれます。再梱包のために、本製品が納められていた梱包箱、緩衝材などは捨てずに保管しておいてください。

安全のために

必ずお守りください

警告

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により、**死亡や大けが**の原因となります。

分解や改造をしない
本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。火災や感電、けがの原因となります。

分解禁止

雷のときはケーブル類・機器類にさわらない
感電の原因となります。

雷のときはさわらない

異物は入れない　水は禁物
火災や感電のおそれがあります。水や異物を入れないように注意してください。万一水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

異物厳禁

通風口はふさがない
内部に熱がこもり、火災の原因となります。

ふさがない

湿気やほこりの多いところ油煙や湯気のあたる場所には置かない
火災や感電の原因となります。

設置場所注意

表示以外の電圧では使用しない
火災や感電の原因となります。
本製品に付属の AC アダプターは AC100-120V で動作します。

電圧注意

付属の電源アダプター以外使用しない
火災や感電の原因となります。
必ず、付属の AC アダプターを使用してください。

付属品を使う

コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない
たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。

たこ足禁止

設置・移動のときは電源プラグを抜く
感電の原因となります。

プラグを抜く

ケーブル類を傷つけない
特に電源ケーブルは火災や感電の原因となります。
ケーブル類やプラグの取扱上の注意
- 加工しない、傷つけない。
- 重いものを載せない。
- 熱器具に近づけない、加熱しない。
- ケーブル類をコンセントなどから抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

傷つけない

光源をのぞきこまない
目に傷害を被る場合があります。光ファイバーケーブルのコネクター、ケーブルの断面、製品本体のコネクターなどをのぞきこまないでください。

のぞかない

適切な部品で正しく設置する
取扱説明書に従い、適切な設置部品を用いて正しく設置してください。指定以外の設置部品の使用や不適切な設置は、火災や感電の原因となります。

正しく設置

ご使用にあたってのお願い

次のような場所での使用や保管はしないでください
- 直射日光のあたる場所
- 暖房器具の近くなどの高温になる場所
- 急激な温度変化のある場所（結露するような場所）
- 湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所（仕様に定められた環境条件下でご使用ください）
- 振動の激しい場所
- ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所（静電気障害の原因になります）
- 腐食性ガスの発生する場所

静電気注意
本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊されるおそれがありますので、コネクターの接点部分、ポート、部品などに素手で触れないでください。

取り扱いはていねいに
落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えたりしないでください。

お手入れについて

清掃するときは電源を切った状態で
誤動作の原因になります。

プラグを抜く

機器は、乾いた柔らかい布で拭く
汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤（中性）をしみこませ、固く絞ったもので拭き、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

お手入れには次のものは使わないでください
石油・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん・みがき粉
（化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書きに従ってください）

シンナー類不可

10 保証と修理

本製品の保証内容は、製品に添付されている「製品保証書」の「製品保証規定」に記載されています。製品をご利用になる前にご確認ください。本製品の故障の際は、保証期間の内外にかかわらず、弊社修理受付窓口へご連絡ください。

アライドテレシス株式会社 修理受付窓口
0120-860332
携帯電話／ PHS からは：045-476-6218
月～金（祝・祭日を除く）　9:00 ～ 12:00
　　　　　　　　　　　　　13:00 ～ 17:00

● **保証の制限**

本製品の使用または使用不能によって生じたいかなる損害（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失またはその他の金銭的損害を含み、またこれらに限定されない）につきましても、弊社はその責を一切負わないものとします。

11 ユーザーサポート

障害回避などのユーザーサポートは、次の「サポートに必要な情報」をご確認のうえ、弊社サポートセンターへご連絡ください。

アライドテレシス株式会社 サポートセンター
http://www.allied-telesis.co.jp/support/info/
0120-860772
携帯電話／ PHS からは：045-476-6203
月～金（祝・祭日を除く）　9:00 ～ 12:00
　　　　　　　　　　　　　13:00 ～ 17:00

12 サポートに必要な情報

お客様の環境で発生した様々な障害の原因を突き止め、迅速な障害の解消を行うために、弊社担当者が障害の発生した環境を理解できるよう、以下の点についてお知らせください。なお、都合により連絡が遅れることもございますが、あらかじめご了承ください。

● **一般事項**

すでに「サポート ID 番号」を取得している場合、サポート ID 番号をお知らせください。サポート ID 番号をご記入いただいた場合には、ご連絡先などの詳細は省略していただいてかまいません。

- ○ サポートの依頼日
- ○ お客様の会社名、ご担当者名
- ○ ご連絡先
- ○ ご購入先

● **製品について**

シリアル番号とリビジョンをお知らせください。

シリアル番号とリビジョンは、本体に貼付されている（製品に同梱されている）シリアル番号シールに記載されています。

S/N 007807G104000001 A1

図 7　シリアル番号シール（例）

S/N 以降のひと続きの文字列がシリアル番号、スペース以降のアルファベットで始まる文字列（上記例の「A1」部分）がリビジョンです。

● **設定や LED の点灯状態について**

- ○ スイッチ類の設定状態をお知らせください。
- ○ LED の点灯状態をお知らせください。

● **お問い合わせ内容について**

- ○ どのような症状が発生するのか、またそれはどのような状況で発生するのかをできる限り具体的に（再現できるように）お知らせください。

● **ネットワーク構成図について**

- ○ ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図をあわせてお送りください。
- ○ 他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどをお知らせください。

13 ご注意

本書に関する著作権などの知的財産権は、アライドテレシス株式会社（弊社）の親会社であるアライドテレシスホールディングス株式会社が所有しています。アライドテレシスホールディングス株式会社の同意を得ることなく本書の全体または一部をコピーまたは転載しないでください。

弊社は、予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがあります。

弊社は、改良のため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

14 商標について

CentreCOM は、アライドテレシスホールディングス株式会社の登録商標です。

15 電波障害自主規制について

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

16 廃棄方法について

本製品を廃棄する場合は、法令・条例などに従って処理してください。詳しくは、各地方自治体へお問い合わせいただきますようお願いいたします。

17 輸出管理と国外使用について

お客様は、弊社販売製品を日本国外への持ち出しまたは「外国為替及び外国貿易法」にいう非居住者へ提供する場合、「外国為替及び外国貿易法」を含む日本政府および外国政府の輸出関連法規を厳密に遵守することに同意し、必要とされるすべての手続きをお客様の責任と費用で行うことといたします。

弊社販売製品は日本国内仕様であり、日本国外において製品保証および品質保証の対象外になり、製品サポートおよび修理など一切のサービスが受けられません。

18 マニュアルバージョン

2011 年 11 月 Rev.A　　初版
2012 年 1 月　Rev.B　　記述変更

3 アイコンの説明

アイコン	意 味	説 明
ヒント	ヒント	知っていると便利な情報、操作の手助けになる情報を示しています。
注意	注意	物的損害や使用者が傷害を負うことが想定される内容を示しています。
警告	警告	使用者が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。
参照	参照	関連する情報が書かれているところを示しています。

4 各部の名称と機能

図 1　外観図

① GBIC スロット（MC1008/GB）
SFP スロット（MC1008/SP）

オプション（別売）の GBIC モジュールまたは SFP モジュールを使用して、光ファイバーケーブルを接続するためのスロットです。このスロットはオートネゴシエーションでリンクを確立します。通信速度は 1000Mbps、通信モードは Full Duplex をサポートします。

本製品には、GBIC/SFPの光ポートの送信側リンクの障害を検出する機能はありません。

② 1000BASE-T ポート

UTP ケーブルを接続するコネクター（RJ-45）です。エンハンスド・カテゴリー 5 以上のツイストペアケーブルを使用します。このポートはオートネゴシエーションでリンクを確立します。通信速度は 1000Mbps、通信モードは Full Duplex、MDI/MDI-X 自動認識機能をサポートします。

③ リンクモード設定切替スイッチ

リンクモードを設定するためのプッシュボタンです。切り替えることにより 3 つのモードを設定することができます。出荷時設定は「LT」です。

○ ML：ミッシングリンクモード

ミッシングリンクモードが有効になります。

1000BASE-T ポートのリンクに障害が発生した場合、GBIC/SFP の送信側リンクを切断します。

GBIC/SFP の受信側リンクに障害が発生した場合、1000BASE-T ポートのリンクを切断します。

・GBIC/SFPの送信側リンクに障害が発生した場合は、1000BASE-Tポートの接続機器に障害を通知できないため、1000BASE-Tポートの接続機器は、障害が発生した経路を使用して通信を継続しようとする場合があります。

○ SML：スマートミッシングリンクモード

スマートミッシングリンクモードが有効になります。

リンク障害が発生した場合、正常なポートでは、LINK LED が点滅します。また、リンクアップ / リンクダウンを間欠的に繰り返し、接続機器に対してリンク障害を伝達します。

・接続機器の仕様によっては、リンクアップした瞬間にパケットを転送するため、通信エラーが発生することがあります。

・GBIC/SFPの受信側リンクに障害が発生した場合、GBICスロット/SFPスロットのLINK LEDは消灯しますが、送信側リンクは維持します。このため、GBIC/SFPの対向機器はリンク障害を検知できません。

○ LT：リンクテストモード

リンクテストモードが有効になります。

リンク障害が発生した場合、リンクテストモードに切り替えることで、正常なポートの LINK LED は点灯し、障害のあるポートの LINK LED は消灯して、リンク障害を通知します。

1000BASE-Tポートがパケットを受信すると、GBIC/SFPのリンクが確立されていない場合でも、GBICスロット/SFPスロットのACT LEDが点滅します。

④ ポート LED

○ LINK LED（緑）

リンクが確立しているときに点灯します。

スマートミッシングリンクモードが有効で、リンク障害が発生した場合は、スタンバイ状態のポートの LINK LED が点滅します。

○ ACT LED（緑）

データを送受信しているときに点滅します。

⑤ リンクモード LED

○ ML LED（緑）

ミッシングリンクモードが有効なときに点灯します。

○ SML LED（緑）

スマートミッシングリンクモードが有効なときに点灯します。

○ LT LED（緑）

リンクテストモードが有効なときに点灯します。

⑥ ステータス LED

○ PWR LED（緑）

本体に電源が供給されているときに点灯します。

⑦ DC ジャック

AC アダプターの DC プラグを接続するためのコネクターです。

5 設置

製品に関する最新情報は弊社ホームページにて公開しておりますので、設置の際は、付属のマニュアルとあわせてご確認のうえ、適切に設置を行ってください。

設置方法

本製品は、次の方法による設置ができます。

○　ゴム足による水平方向の設置

オプション（別売）を利用することにより、次の方法による設置ができます。

○　ラックマウントキットによる 19 インチラックへの設置

○　壁設置ブラケットによる設置

○　マグネットシートによる設置

・弊社指定品以外の設置金具を使用した設置を行わないでください。また、本書に記載されていない方法による設置を行わないでください。不適切な方法による設置は、火災、故障の原因となります。

・水平方向以外に設置した場合、「取り付け可能な方向」であっても、水平方向に設置した場合に比べほこりがたまりやすくなる可能性があります。定期的に製品の状態を確認し、異常がある場合には直ちに使用を止め、弊社サポートセンターにご連絡ください。

注意　製品に関する最新情報は弊社ホームページにて公開しておりますので、設置の際は、付属のマニュアルとあわせてご確認のうえ、適切に設置を行ってください。

設置準備

● 設置するときの注意

本製品の設置を始める前に、必ず「安全のために」をよくお読みください。設置場所については、次の点にご注意ください。

○　電源ケーブルや各メディアのケーブルに無理な力が加わるような設置はさけてください。

○　テレビ、ラジオ、無線機などのそばに設置しないでください。

○　傾いた場所や、不安定な場所に設置しないでください。

○　底部を上にして設置しないでください。

○　充分な換気ができるように、本製品の通気口をふさがないように設置してください。

○　本体の上にものを置かないでください。

○　直射日光のあたる場所、多湿な場所、ほこりの多い場所に設置しないでください。

○　本製品は屋外ではご使用になれません。

○　コネクターの端子にはさわらないでください。（静電気を帯びた手（体）でコネクターの端子に触れると、静電気の放電により故障の原因となります。）

設置

● ゴム足による水平方向の設置

1.　ゴム足を貼り付ける

ゴム足は本体を固定し、衝撃を吸収するクッションの役目をしますので、本体底面の四隅に同梱のゴム足を貼り付けてください。
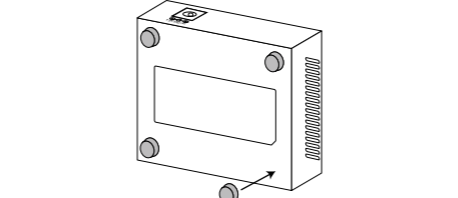
図 2　ゴム足の貼り付け位置

2.　ケーブルクランプを貼り付ける

DC ケーブルの抜けを防止するために、ケーブルクランプの接着シールをはがし、本体背面に貼り付けてください。
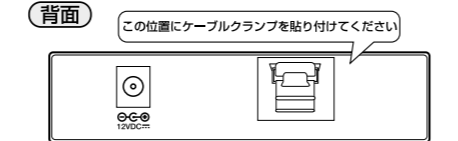
図 3　ケーブルクランプの貼り付け位置

オプション（別売）を利用した設置

● 19 インチラックへの設置

本製品を 19 インチラックに取り付ける場合には、オプションの 19 インチラックマウントキット MCR12、AT-TRAY1 または AT-TRAY4 をご使用ください。

・ラックマウントキットの使用方法は、ラックマウントキットに同梱されている取扱説明書をご参照ください。

・本製品をオプションの19インチラックマウントキットを使用して19インチラックに取り付ける際は、適切なネジで確実に固定してください。固定が不充分な場合、落下などにより重大な事故が発生するおそれがあります。

・ラックマウントキットの本製品への取り付けは、ラックマウントキットの取扱説明書に従って正しく行ってください。指定以外のネジ等を使用した場合、感電、火災、故障等の危険があります。

MCR12に取り付ける場合、本製品からゴム足とケーブルクランプを外してください。AT-TRAY1またはAT-TRAY4に取り付ける場合、本製品からゴム足を外してください。（ケーブルクランプの貼り付け位置によりケーブルクランプを外す必要があります。）

● 壁設置ブラケットによる設置

本製品の壁面への設置は、別売の壁設置ブラケット AT-TRAY1 を使用し、以下の点に注意して行ってください。

・壁設置ブラケットの使用方法は、AT-TRAY1 の取扱説明書をご参照ください。

・本製品は必ず下図の○の方向に設置してください。
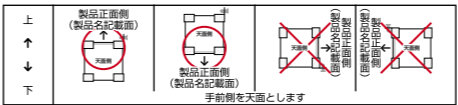
図 4　壁設置ブラケットを使用する場合の設置方向

・必ず○の方向に設置してください。それ以外の方向に設置すると、正常な放熱ができなくなり、火災、故障の原因となります。

・壁設置ブラケットを使用して壁面に取り付ける際は、適切なネジで確実に固定してください。固定が不充分な場合、落下などにより重大な事故が発生するおそれがあります。

・壁設置ブラケットに取り付け用ネジは同梱されていません。別途ご用意ください。

・壁設置ブラケットを使用する際は、本製品からゴム足を外してください。（ケーブルクランプの貼り付け位置によりケーブルクランプを外す必要があります。）

● マグネットシートによる設置

本製品のスチール製壁面への設置は、別売のマグネットシート S を使用し、以下の点に注意して行ってください。

・マグネットシート S の使用方法は、マグネットシート S の取扱説明書をご参照ください。

・本製品は必ず下図の○の方向に設置してください。
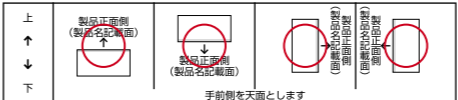
図 5　マグネットシートを使用する場合の設置方向

設置面の状態によっては、マグネットシートの充分な強度を得られない場合があります。

・必ず○の方向に設置してください。それ以外の方向に設置すると、正常な放熱ができなくなり、火災や故障の原因となります。

・マグネットシートの取り付けおよび機器の設置は、ケーブルなどの重みにより機器が落下しないように確実に行ってください。ケガや機器破損の原因となるおそれがあります。

・マグネットシートの取り付けは、マグネットシートの取扱説明書に従って正しく行ってください。

6 GBIC/SFP の取り付け

本製品は、オプション（別売）の GBIC または SFP に対応しています。

・MC1008/GB:　GBIC に対応

・MC1008/SP:　SFP に対応

GBIC および SFP は、対向機器のメディアと伝送距離に応じてお選びいただけます。

・GBIC/SFPの取り付け・取りはずしの際は、アースが施されたリストストラップを着用するなど静電防止対策を行ってください。

・対応GBICまたはSFP以外での動作保証はいたしかねますので、ご注意ください。

・対応するGBICおよびSFPについては、弊社のWebサイトをご参照ください。
http://www.allied-telesis.co.jp/

・GBIC、SFPはホットスワップ対応のため、取り付け・取り外しの際に、本製品の電源を切る必要はありません。

・SFPには、スロットへの固定・取り外し用にハンドルが付いているタイプとボタンが付いているタイプがあります。形状は異なりますが、機能的には同じものです。

GBIC または SFP の両脇を持って本製品の GBIC スロット/SFP スロットに挿し込み、カチッとはまるまで押し込んでください。

ハンドルが付いているタイプは、ハンドルを上げた状態で押し込んでください。

7 接続

ネットワーク機器の接続

● 1000BASE-T ポート

UTP ケーブルで接続します。

本製品の 1000BASE-T ポートは 10Mbps/100Mbps、および Half Duplex での接続はサポートしていません。

MC1008自ポート ＼ 接続先ポート	通信速度 1000Mbps				
	Half Master 固定	Half Slave 固定	Full Master 固定	Full Slave 固定	AUTO
Auto（1000M/Full）	―	―	―	―	○

UTPケーブルのコネクター部を持ち、カチッと音がするまで差し込んでください。

● GBIC スロット /SFP スロット

本製品に装着した GBIC または SFP に適合するケーブルを接続してください。

目に傷害を被る場合がありますので、光ポートおよび光ファイバーケーブルはのぞきこまないでください。（CLASS1 LASER PRODUCT）

・光ファイバーケーブルは折れやすいので取り扱いにご注意ください。

・GBICスロット/SFPスロットの対向に他機種を接続する場合は、リンクモード設定切替スイッチをリンクテストモードに設定してください。

電源の接続（本製品の起動）

1.　AC アダプターを本製品に接続する

DC プラグはケーブルクランプに通して本製品の DC ジャックに接続し、AC プラグ側を電源コンセントに差し込みます。
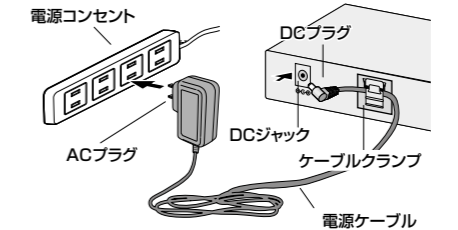
図 6　AC アダプター

本製品を使用する場合には、必ず製品に同梱されているACアダプターをご使用ください。不適切なACアダプターや電源コンセントを使用すると、発熱による発火や感電のおそれがあります。

本製品には電源スイッチがありません。ACプラグを電源コンセントに接続した時点で、電源が入りますのでご注意ください。

2.　LED を確認する

本体前面のステータス LED の PWR が点灯したことを確認します。

接続先機器の電源が入っており、各メディアのケーブルが正しく接続されていれば、接続されたポート LED（LINK）が点灯します。

3.　リンクモードを設定する

必要に応じてリンクモード設定切替スイッチを設定します。

本製品の停止

本製品を停止するには、電源コンセント側の AC プラグを抜いてください。

本製品を停止してから再度起動する場合は、しばらく間をあけてください。

8 トラブルシューティング

「通信できない」とか「故障かな？」と思われる前に、以下のことを確認してください。

●　ステータス LED（PWR）は点灯していますか？

PWR LED が点灯していない場合は、電源ケーブルに断線がないか、AC プラグや DC プラグが正しく接続されているか、正しい電源電圧のコンセントを使用しているかなどを確認してください。

●　機器を停止後、すぐに起動していませんか？

本製品を停止してから再度起動する場合は、しばらく間をあけてください。

●　LINK/ACT LED は点灯していますか？

LINK/ACT LED は接続先機器と正しく接続されている場合に点灯します。点灯しない場合、以下のことを確認してください。

○　UTP ケーブル、および光ファイバーケーブルが正しく接続されているか、正しいケーブルを使用しているか、断線していないかなどを確認してください。

また、ケーブルの長さが制限を超えていないか確認してください。

○　接続先の機器に電源が入っているか、接続先機器が同じ通信モード（オートネゴシエーション /Full 固定）になっているかを確認してください。

○　リンクモード設定切替スイッチの設定を変更しても設定通りの動作をしない場合は、AC プラグをコンセントから抜き、しばらくしてから電源を投入し直してください。

9 製品仕様

● 1000BASE-T インターフェース仕様

RJ-45 型のモジュラージャックを使用しています。

コンタクト	MDI	MDI-X
1	BI_DA +	BI_DB +
2	BI_DA −	BI_DB −
3	BI_DB +	BI_DA +
4	BI_DC +	BI_DD +
5	BI_DC −	BI_DD −
6	BI_DB −	BI_DA −
7	BI_DD +	BI_DC +
8	BI_DD −	BI_DC −

※　本製品は MDI-X には対応しておりません。

● 本製品の仕様

	MC1008/GB	*MC1008/SP*
準拠規格		
	IEEE 802.3ab 1000BASE-T	
適合規格		
安全規格	UL60950-1, CSA-C22.2 No.60950-1	
EMI 規格	VCCI クラス A	
電源部		
定格入力電圧	AC100-120V	
入力電圧範囲	AC90-132V	
定格周波数	50/60Hz	
定格入力電流	0.2A	
最大入力電流（実測値）	0.14A	0.11A
平均消費電力	6.8W（最大 7.8W）	4.9W（最大 5.6W）
平均発熱量	24kJ/h（最大 28kJ/h）	17kJ/h（最大 20kJ/h）
環境条件		
動作時温度	0 ～ 40℃	
動作時湿度	80% 以下（ただし、結露なきこと）	
保管時温度	-20 ～ 60℃	
保管時湿度	95% 以下（ただし、結露なきこと）	
外形寸法（突起部含まず）		
	105（W）× 95（D）× 25（H）mm	
質量		
製品本体	300g	
AC アダプター	120g	